

第3回信州伝統大工養成セミナー

伝統を未来につなぐ「新時代の大工棟梁をめざして

「信州職人学校／基礎コース」3期生の募集に向けて

長野県建設労連では、信州職人学校・伝統大工コースの「基礎コース」を、2013年6月に開講します。3期生の受講生募集にあたり、第3回信州伝統大工養成セミナーを開催します。

当日は、職人学校の紹介と募集説明を行うとともに、木造の構造設計界の若手ホープである「山田憲明」氏をお招きし、天然木材と伝統構法を生かした新たな木造建築の可能性を語って頂きます。

その後、業界記者や実技講師、修了生をまじえ、信州職人学校は何をめざすのか、修了後の活躍場の拡大をどう図るのか等、パネルディスカッションを通して共に考えたいと思います。

さらなる技の上達をめざしている若手職人や、受講生の送り出しや仕事の開拓に意欲をお持ちの事業主、伝統建築や伝統技能のゆくえに関心をお持ちの関係者、先人が残した民家や文化遺産の活用・再生等に関心をお持ちの市民の方など、多くの方々のふるってのご参加をお待ちしています。

《建設労連では、先人が蓄積した伝統的な技や智慧を引継ぎ、未来へと発展させて行くために、2009年、長野県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校／伝統大工コース」を開講しました。

このコースは、信州の歴史と風土を踏まえ、伝統構法に係る技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜、半年間の訓練を行います。

経験や資格に応じ、「基礎（2級）コース」と「入門講座」、「応用（1級）コース」を設け、過去4年間で延べ64人の仲間が各コースを修了しました。各コース修了者には、県知事認定による「信州伝統大工技能評価試験」を実施し、合格者には「信州伝統大工」（2級、1級）の称号が与えられ、将来への活躍の基が形成できます。

この修了試験は、国家検定（大工技能士）をしのご高いレベルを有し、これまで2級9名、1級10名の合格者（合格率：28.8%）を輩出しました。

また、信州職人学校は、2010年度、国交省＋林野庁「木のまち木のいえ担い手育成拠点」プロジェクトの全国10拠点の一つに選ばれたほか、2011年度からは国交省「木造住宅施工能力向上・継承事業」に採択され、独自テキストの継続作成を行うなど訓練内容の充実が図られ、今後さらなる飛躍が期待されています。》

期 日：2013年2月23日（土）13:30～17:00

会 場：長野県松本技術専門学校・ふれあい技能センター（松本市寿北7-16-1）

主 催：長野県建設労働組合連合会（長野県建設労連）

参加費：無料（事前申込が必要）

定 員：100名（定員になり次第締切）

信州職人学校／2011年度基礎コース2期生の実習風景から



プログラム：

13：30 開会、主催者挨拶 清水 清武 氏（信州伝統建築技能継承事業運営委員長）

13：40【講演】「木造建築の未来への可能性を求めて」

山田 憲明 氏（株山田憲明構造設計事務所・代表取締役）

1973年東京都生まれ。京都大学工学部卒業。1997年(株)増田建築構造事務所に入社、2001年よりチーフエンジニア、同事務所の代表的作品に関わる（在籍15年）。2005年大洲城天守復元で第1回ものづくり日本大賞・第7回国土技術開発賞最優秀賞を共同受賞。2011年国際教養大学図書館棟で第22回日本建築構造技術者協会（JSCA）作品賞受賞。2012年独立。同年、東北大学大学院環境科学研究科エコロラボで第7回日本構造デザイン賞受賞。構造設計一級建築士。セミナー・講演・シンポ等、多数（JSCA、日本建築学会、NPO 伝統木構造の会他）。



国際教養大学図書館棟



大洲城天守復元



大分・鶴居小学校



東北大学大学院エコロラボ

15：00【報告】「信州職人学校4年間の歩みと今後の課題」

秋山 恒夫 氏（信州職人学校コーディネーター、職業能力開発総合大学校元教授）

1947年兵庫県生まれ。横浜国大卒、東大大学院修了。原広司研究室、(株)菊竹清訓建築設計事務所にて設計修業。1981年～教鞭。1984年～同校キャンパスの全面再開を約10年をかけて実現。1996年「東京建築カレッジ」、2000年「ものづくり大学」、2009年「信州職人学校」等の立ち上げに協力。(社)日本建築学会、(社)実践教育訓練研究協会、NPO 伝統木構造の会等の活動を通し、ものづくり教育や伝統木造の普及に取り組む中。



15：30【パネルディスカッション】「信州伝統大工コースは何をめざすか」

司会：秋山 恒夫 氏（前掲）

パネリスト：山田 憲明 氏（前掲）

岸 豊 氏 / (株)新建新聞社・編集部係長、記者。第2回信州伝統大工養成セミナーにパネリストとして参加。信州建築職人ネットワーク委員会・委員。

三浦 保男 氏 / 1959年塩尻市生まれ。大工修業後、1976年独立。2001年(有)三浦創建に改組、代表取締役。2006年「真の日本の住まい」理事長賞受賞。2010年「信州の名工」卓越技能者知事表彰受賞。自ら構造実験を行ない、伝統構法を改良した「新伝統構法」による家づくりを実践。NPO 伝統木構造の会・副会長。信州職人学校・実技講師。



高野 実 氏 / 1974年松本市生まれ、工務店勤務を経て1996年独立、2010年たかの建築設立。2009年基礎コース、2010年応用コースを修了。2011年信州伝統大工1級合格。同年、元請として伝統構法住宅の建設を開始。



宮澤 泰弘 氏 / 1981年松川町生まれ。工務店勤務を経て2005年独立。信州職人学校・入門講座を修了後、2010年応用コースを修了。2011年信州伝統大工1級合格。現在、文化財建造物木工技能者を目指して研修中。



16：50【説明】「信州職人学校・基礎コース」3期生の募集について（事務局）

17：00 閉会

申込み方法：最寄りの組合または信州職人学校ホームページにある申込用紙に必要事項をご記入の上、2月19日（火）までに建設労連へFAXにてお申込み下さい。（先着順）

〒390-0864 松本市宮渕本村1-2 長野県建設労働組合連合会（担当：宮川、矢ヶ崎、吉田）